

大阪市立総合医療センターで原発性骨腫瘍の生検・手術を受けられた患者・ご家族の皆様へ  
原発性骨腫瘍に関する調査へのご協力をお願い

今回、大阪市立総合医療センターは、原発性骨腫瘍の病理組織に関する研究を実施いたします。そのため、以前に大阪市立総合医療センターで原発性骨腫瘍の生検・手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

#### 研究の目的

発生頻度の大変少ない原発性骨腫瘍症例の予後調査を行い、日本における原発性骨腫瘍の診断治療の指標を確立するとともに、病理学的所見を検討し良性・悪性の鑑別に用いることが出来る客観的な病理学的診断基準や客観的な予後予測因子を確立することを目的とします。

#### 研究の方法

##### ・対象となる患者様について

1989年(平成元年1月1日)から倫理委員会承認日までの間に、大阪市立総合医療センターで原発性骨腫瘍の生検・手術を受けられた患者様が対象となります。

##### ・方法について

臨床情報(年齢、性別、発生部位、初発症状、治療法、予後など)を収集するとともに病理組織標本(生検および手術材料)について再度顕微鏡所見を検討し、再発・転移予想に有意な所見や良悪の鑑別に有意な所見を統計学も用いて抽出します。

##### ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

##### ・外部への試料・情報の提供

本研究は共同研究施設から収集された病理組織標本や臨床情報を扱います。それらは研究代表者である京都府立医大病理学教室、小西英一医師が直接各研究共同施設に出向き、匿名化した標本の組織学的検討を行い、データのみを取得し京都府立医大での解析に用います。従って住所氏名などの個人情報とは特定不能です。また研究対象となる個人情報は年齢、性などであり、個人を特定できる情報は一切含みません。このような方法で、研究遂行にあたって個人情報の保護に努めます。

仮に研究対象患者様から問い合わせがあった場合、個人の不利益になる研究ではない旨説明します。その上で利用を拒否された場合は、その材料を研究対象から除外します。

## 研究組織

京都大学大学院医学研究科感覚運動系外科学整形外科学（講師 岡本 健）・病理診断学（教授 羽賀博典）、大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学整形外科（教授 吉川秀樹）・病態病理学（教授 森井英一）、大阪市立大学大学院医学研究科感覚・運動機能医学整形外科学（講師 星 学）・病態診断・生体機能管理医学診断病理学（教授 大澤政彦）、兵庫医科大学医学部整形外科学（准教授 麩谷博之）・病理学（病院病理学）（准教授 塚本吉胤）、国立病院機構大阪医療センター整形外科（部長 上田孝文）・臨床検査・病理診断科（部長 眞能正幸）、大阪市立総合医療センター整形外科（副部長 青野勝成）・病理診断科（部長 井上 健）、大阪府立成人病センター整形外科（部長 荒木信人）・病理細胞診断科（部長 富田裕彦）、兵庫県立がんセンター整形外科（部長 藤田郁夫）・病理診断科（部長 佐久間淑子）、津市民病院病理診断科（部長 濱田新七）、京都第一赤十字病院病理診断科（部長 浦田洋二）、京都第二赤十字病院病理診断科（部長 桂 奏）、松下記念病院整形外科（部長 村田博昭）・中央臨床検査部（部長 川端 健二）との共同研究である。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成32年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、大阪市立総合医療センター臨床研究倫理審査会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

### 連絡先

大阪市立総合医療センター 整形外科 副部長・青野勝成

大阪市立総合医療センター 病理部 部長 井上健 電話：06-6929-1221

研究代表者 京都府立医大病理学教室 准教授 小西英一 電話：075-251-5668